

60<sup>th</sup>  
IIDA  
60th Anniversary

JCI 一般社団法人飯田青年会議所 広報誌

# 未来

みらい

未来 1月号  
2020.01  
vol.60 No.663

編集責任者：次代創造委員長 小林大悟  
一般社団法人飯田青年会議所  
長野県飯田市常盤町41番地  
TEL. (0265) 23-7875  
FAX. (0265) 23-7872  
E-mail: info@iida-jc.com  
URL http://www.iidajc.com

2020年度 スローガン：REBORN ~クレドを胸に新しい時代、新しい飯田JCを創りだそう~

## 謹賀新年



### 年頭所感



第六十代理事長  
林 孝圭

新年あけましておめでとうございます。2020年度第六十代理事長を務めます林孝圭と申します。まずは、2019年度の(一社)飯田青年会議所の活動に、ご支援ご協力を賜りました事、この場をお借りして御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

本年度(一社)飯田青年会議所は創立60周年を迎えます。この節目の年を、組織が更なる飛躍への機会とすべく、スローガン「REBORN ~クレドを胸に新しい時代、新しい飯田JCを創りだそう」を掲げて活動して参ります。

昨年、平成から令和へと時代が変わりました。南信州もリニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開発が進み、我々を取り巻く環境は目まぐるしく変わっています。この様な中、我々がやるべき事は、創立から変わる事無く受け継がれて来た、日本一輝くまちへ向けた、愚直な活動であると考えます。創始の精神を継承すると共に、節目の年として新たな活動の展開へ向けて、組織の方向性を示してまいります。そして、60周年という節目



の年として、今日まで活動を継続されてきた諸先輩方や、ご支援ご協力をくださった地域の皆様へ、感謝を伝えて参ります。

また近年、最重要課題として取り組んできました会員拡大の結果、当会の会員数は増加に転じています。これも、定款変更までも決断した諸先輩方や、多大なるご協力を頂いた皆様のお陰です。この良い流れを継続する為に、新たな取組として、全員が常に行う活動へと意識を変え、更なる会員拡大へ取り組んで参ります。

最後になりますが、本年も皆様方から変わらぬご理解とご支援を賜ります様お願いをさせていただきます。ご挨拶とさせていただきます。一年間宜しくお願致します。

## 年頭所感



直前理事長  
永井洋平

新年あけましておめでとうございます。昨年度は理事長という大役を担わせていただきましたが、皆様からのご支援ご鞭撻によりなんとか終わることができました。この場をお借りして感謝申し上



げます。

ここ数年、在籍年数の短いメンバーが多くなり、飯田青年会議所としての力を十分には発揮できない環境にあったと思います。しかし、会員拡大を最重要課題として取り組んでくださった歴代理事長のおかげで、本年度は在籍年数が4年を超えるメンバーが12名となります。さらに、熱く語り合う新たなメンバーも入会し、いよいよ、ますます活性化しております。

そして当会議所は本年度、林孝圭理事長のもと60周年を迎えることとなります。REBORNというスローガンのもと、確固たる伝統を継承しつつ、次世代の南信州を創造する組織の再誕となる一年を目指し、直前理事長としてサポートして参りたいと思っております。どうぞ皆様の変わらぬご支援を、また新会員のご紹介も是非お願いさせていただきます。直前理事長の年頭所感とさせていただきます。本年度もよろしくお願いたします。

## 年頭所感



外部監事  
清水洋介

新年明けましておめでとうございます。昨年に引き続き、本年も宜しくお願致します。また、昨年度は副理事長という立場として皆様に多大なるご協力を頂き誠にありがとうございました。本年度、第六十代林理事長のもと、(一社)飯田青年会議所60周年という節目の年に外部監事という大役を拝命致しました清水と申します。職務を遂行することは勿論、飯田青年会議所がメンバー一丸となり、組織の運営が滞りなく行っていくことができるよう尽力していく所存であります。監事の職務は、事業の執行ならびに会計に関して冷静かつ客観的な立場で監査を行うことだと心得ております。昨年卒業したばかりの若輩者ではございますが、諸先輩方を見習い、飯田J.C.ここにあり、と存在を示していけるよう活動に向き合い、全身全霊を捧げ邁進して参ります。また、一年を通して、現役メンバーを監事という立場から支えながらも、自身を客観的かつ冷静に捉え、全てのことに対し厳しさ、優しさを併せ持つ監事を目指し、精一杯役割を果たして行きたいと思っております。どうぞ、宜しくお願致します。

## 年頭所感



監事  
村澤拓馬

新年あけましておめでとうございます。林孝圭理事長のもと、監事を担うこととなりました村澤拓馬です。現役メンバーの一員でありながら客観的な立場で、飯田J.C.全体を見つつ、執行部・各委員会・各メンバーの活動を支えて参ります。

2020年度飯田青年会議所は、60周年という大きな節目に林理事長が掲げる、「変わらぬ想いで新たな活動への礎を作る」「意識から変える会員拡大」「世代や立場を超えたまちづくり」「力強い組織への変革」の基本方針のもとに、自ら困難に立ち向かうことで日々学び、成長し、このまちに新たな希望を見出す為に活動に取り組んで参ります。

また、飯田青年会議所メンバー全員が、これまで先輩方の築き上げてくださった地域からの信頼を守り、クレドを胸に新しい時代、新しい飯田J.C.を創り出すよう尽力して参ります。監事という立場で尽力して参りますので、一年間どうぞよろしくお願いたします。

年頭所感



顧問  
佐々木志郎

あけましておめでとうございます。本年度、顧問を務めさせていただきました佐々木志郎と申します。昨年、皆さまのおかげをもちまして卒業させていただきましたが、本年、飯田青年会議所60周年という中で、50周年、55周年を経験した立場として、ある時は客観的に、ある時は主体的に、周年に関わる事業に貢献させていたたく所存です。身に余る役職ではありませんが、未来輝く若いメンバーと、確固たる礎を築いてこられたOBの皆様との橋渡し役としても、ご活用いただければと思います。

さて、飯田青年会議所の60周年は、重要な局面を迎えます。今後、この10年の間に、人や物の流れに大きな変化が予想され、文化的にも、習慣すらも変化が訪れます。この状況に於いて、この10年の中心世代である飯田青年会議所が示す未来の理想像は、まさに、このまちの方向性をも示すものになると言ってもいいはずですが、この局面においては、私を含め現役メンバー一同とても前向きにとらえ、前進をしてみたいと思いますが、道に迷い、

年頭所感



南信州への新たな  
飛翔室 副理事長  
村松将太

周囲が見えなくなることもあるかと思えます。過去におきまして同様の局面において、礎を築いてこられた皆様の益々の御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

新年あけましておめでとうございます。2020年度、南信州への新たな飛翔室の担当副理事長を務めさせていただきます村松将太と申します。本年度は総務運営系委員会の担当副理事長として、「温故知新の志委員会」委員長の池田慎太郎君とともに、「(一社)飯田青年会議所」メンバーがこれまで以上に活動しやすい環境を提供できるよう努めていく所存でございます。

私自身、2015年に新会員として入会した後、本年度で入会6年目を迎えました。そして、これまでの5年間においては、事務局長2回、事務局次長1回と事務局に多く携わる機会をいただけて参りました。方や池田慎太郎委員長も入会5年目であり、事務局次長の経験も2度ご

年頭所感



リニア時代研究室  
副理事長  
阿部俊平

ございます。現状においても若輩者であることは相変わらずですが、私と池田慎太郎委員長は、現在所属するメンバーの中では年長部類のメンバーであることや事務局所属経験も比較的多数であることを活かし、本年度、「(一社)飯田青年会議所の運営体制を見直すこと」で、「力強い組織への変革」を達成し、理事長の掲げる所信を達成できるよう尽力いたします。本年度も皆様には多大なる御助力を賜うことと存じますが、何卒よろしくお願いいたします。

新年あけましておめでとうございます。2020年度、リニア時代研究室の担当副理事長を務めさせて頂きます阿部俊平と申します。当室では、まちづくり事業を担当するNew Traffic System 委員会を受け持ちます。New Traffic System 委員会では、リニア中央新幹線、三遠南信自動車道の開通による大きなチャンスを活かすべく、最先端の新交通網を学び、南信州の新交通システム確立の第一歩を踏み出す活動をして参りたいと考えてい

年頭所感



温故知新の志委員会  
委員長  
池田慎太郎

ます。そして、南信州の未来を真剣に悩み、考える姿を地域に示す事で、共に活動する仲間を増やす会員拡大にも繋げて行きたいと考えています。多くの皆様の多大なるご協力を得ながら、理事長が掲げるスローガン「REBORN」を達成できるように飯田青年会議所メンバー一丸となって頑張ります。飯田青年会議所60周年という記念すべき今年度に副理事長という重大な役割を頂いたことに感謝をし、精一杯務めて参る所存です。どうぞ、宜しくお願い致します。

新年明けましておめでとうございます。林理事長の元、2020年度温故知新の志委員会委員長を務めます池田慎太郎です。当委員会では、理事長の掲げた「力強い組織への変革」を実現するために、より質の高い学びを得られる基礎を築く活動を行います。昨年、林理事長より委員長をやってみたいかとお話を頂いたときに、想いをお聞きした中、新会員、歴の短いメンバーの多い中、私も今一度受け継がれてきていることを再



確認しJC活動の可能性を見出してみたいと想い、挑戦してみようと考え委員長の担いを受けさせていただきました。

当委員会の活動の中で飯田青年会議所の組織の根幹となる一般社団法人とは何か、そして、様々受け継がれてきている事柄の根幹を紐解き、また、活動の本質を真っ直ぐな気持ちで見つめ直しJCでの学びとは何かを考えます。併せて、効率的に活動を行える構造を作り上げていきます。そうすることで、先輩方の知恵に学び、活かし、各メンバーが学びの本質を多く感じ、より活気と自信が溢れる魅力の高いJC活動を行っていかると考えています。

改めまして、2020年度未熟な私ではありますが、一生懸命この担いを果たしていきたいと思えます。本年度1年間よろしくお願ひ申し上げます。

### 年頭所感



New Traffic System  
委員会 委員長  
早川大地

新年明けましておめでとうございませす。本年、New Traffic System 委員会の委員長を務めさせて頂きます早川大地と申します。60周年という素晴らしい年に、



委員長という大役を拜命させて頂き、心より感謝申し上げます。

近い将来、リニア中央新幹線、三遠南信自動車道の開通を見込む激動の時代の中、当委員会では、Let's infuse with Minami Shinsu spirit. というスローガンの下、南信州の新たな希望を新交通網から見出すべく、活動致します。当委員会の取り組みとしては、地域の未来を繋ぐ新交通網の基礎知識を養い、最先端の技術に触れ、新交通網への理解を深化し、メンバーの南信州のリーダーたる資質を高めます。最終的には、輝く未来の為に、南信州に相応しい新交通網の活用方法を、地域の方々と共に、提唱致します。世界と繋がり、日本一輝くまちを目指すべく、過去に類のないような取り組みにも果敢に挑戦致します。JCは失敗を恐れず、不断の努力の下、チャレンジし続ける組織であり、世界に誇れるような南信州の一翼を担えるよう、委員長として粉骨砕身で挑戦する所存です。一年間、何卒宜しくお願い申し上げます。

### 年頭所感



次代創造委員会  
委員長  
小林大悟

新年明けましておめでとうございます。本年度、次代創造委員会委員長を務めさせて頂きます小林大悟と申します。(一社)飯田青年会議所60周年の節目に、委員長という大きな役目を担わせていただきましたこと心より感謝し、精一杯JC活動に取り組み所存でございます。

次代創造委員会では、(一社)飯田青年会議所の次なる10年を見据え、新たなビジョンの策定を行います。その活動の中で、諸先輩方が築かれた59年間に及ぶ組織の輝かしい歴史を改めて学び、脈々と受け継がれるまちづくりの精神を伝承して参ります。

また、組織を取り巻く社会環境を分析し、劇的な変化が訪れようとしている南信州の未来を切り開く、確かな道筋を築きます。入会から3年目の本年、まだまだ若輩者ではありますが、メンバーの熱い想いが込められたビジョンを策定するために、私自身が真摯に学び、委員長という大役に全力で挑戦いたします。

そして、絶えず活動を支えて下さる諸先輩方、関係者の皆様、全国各地の同志に感謝を伝え、これからの(一社)飯田青年会

議所に期待を感じていただくために、60周年記念式典・祝賀会を執り行います。

1年を通して、多くの皆様にご多大なるご協力を賜うること存じますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。

創立60周年を迎える(一社)飯田青年会議所がいよいよスタートいたしました。第六十代理事長の林孝圭君が掲げるスローガン「REBORN」クレドを胸に新しい時代、新しい飯田JCを創りだそう。のもと、メンバーが一丸となって活動する様子を、本誌にて皆様にお伝えして参ります。

本年度は、特集記事に「飯田JCの歩み〜日本一輝くまちをめざして〜」を掲載し、飯田JCの過去に行ってきた活動を、写真と合わせてお届けいたします。中には皆様も参加していただいた活動もあるかと思えます。是非、ご期待ください。

未来誌発行を担当いたします次代創造委員会一同、本誌を手にとっていただく皆様に楽しんで貰えるように、精一杯取り組んで参ります。それでは本年度もどうぞよろしくお願ひいたします。